

第5回定例研究会

対人関係展開のためスキルとしての対人コミュニケーション力
— 間を含むコミュニケーションの有用性 —

第5回定例研究会は、大阪大学大学院人間科学研究科教授の大坊郁夫先生をお招きし、「対人関係展開のためスキルとしての対人コミュニケーション力—間を含むコミュニケーションの有用性—」というテーマで講演いただきました。

【講師プロフィール】

専門：対人コミュニケーション、対人関係の展開、社会的スキル・トレーニング、well-being の心理学

学会活動等：日本応用心理学会常任理事、日本心理学会諸学会連合心理学検定局副局長、日本感情心理学会顧問、日本社会心理学会前会長等

主な著書：『しぐさのコミュニケーション—人は親しみをどう伝えあうか—』（1998、サイエンス社）、大坊郁夫・永瀬治郎（編）『関係とコミュニケーション』（2009、ひつじ書房）、大坊郁夫（編）『幸福を目指す対人社会心理学 - 対人コミュニケーションと対人関係の科学—』（2012）、その他研究報告多数。

講師

大坊 郁夫 氏（大阪大学大学院 人間科学研究科教授）

テーマ

対人関係展開のためスキルとしての対人コミュニケーション能力
— 間を含むコミュニケーションの有用性 —

講演日

2012年2月4日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K-205

